

スポーツには、言葉、性別、人種、障がいなどの壁はありません。

そして健康や生きがいづくり、地域や経済の活性化、国際交流などに密接に関わり、人と人、企業と企業、北海道・札幌のモノ・コトをつなぐ大切な役割を担っています。

このようなスポーツによるまちづくりについて、株式会社どんぐり代表取締役社長の野尻雅之さんにお話を伺いました。

愛される「地元のパン屋さん」として
スポーツを通じた地域活性化に意欲

DONGURI



株式会社どんぐり 代表取締役社長

野尻 雅之 さん

1978年生まれ、北海道北広島市出身。2002年に株式会社どんぐりに入社し、2009年に代表取締役社長に就任。2022年から男子プロバレーボールチーム「北海道イエロースターズ」の役員に就任し、2023年～2024年シーズンの冠パートナー契約を締結。

地元スポーツチームの志に共感し

2023年に冠パートナー契約を締結

小中高と野球少年だったこともあり今でも自分はスポーツ全般が好きですが、以前は会社としてスポーツに関わろうと考えたことはありませんでした。コロナ禍以降、地域との繋がりが地元への想いをより一層意識するようになった中で、男子プロバレーボールチーム・北海道イエロースターズが掲げるスポーツチームをハブにしたまちづくり構想を知り、すごく面白いと思ったんです。彼らの「ワクワクを提供して、地域を盛り上げたい」という思いが、創業から変わらないどんぐりの Motto と一緒だなと。まちのパン屋さんである僕らなりの関わり方や地域貢献があるんじゃないかと、2023年に北海道イエロースターズと冠パートナー契約を結びました。

大切にしてきた地元との繋がりが

これからのまちづくりに役立てたい

昨年は選手の皆さんが考案したコラボパンを試合会場で限定販売したり、全店舗で選手の「推しパン」を告知するなどの活動を行い、各方面から好評の声をいただきました。地元の方々との繋がりがこそが、どんぐりの強みです。暮らしに身近なパン屋さんが地元の話題や魅力を紹介することで、新たな世界や楽しみが広がって、自分たちが住む街の魅力を知らせてくれるんじゃないかと思うんです。これからもどんどんいろんな形のワクワクを提供して、地域みんなで盛り上がってほしい。新しいスポーツチームのカタチづくりや未来のまちづくりを、一緒に応援をしてもらえたらうれしいです。

いい人、いい街

#まいにち金メダル

さっぽろの魅力的なヒト・モノ・コトに金メダルを贈り合う「まいにち金メダル」プロジェクト実施中



HOKKAIDO
YELLOW STARS

北海道イエロースターズのHP、SNS、YouTubeで最新情報を公開しています。ファンクラブ会員も募集中!

コチラのページから
各リンクを選んで

